

(単位：円)

教育総務課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	124～125			
政策	4	人を育むまち		事業名		小学校施設管理事業（繰越明許費分）					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
4,619,000		3,439,800		0		1,179,200		74.5 %		—	
1		事業目的		小学校施設の安全性及び快適性を確保するために、学校の施設・設備の破損・故障か所を整備することで、学校運営を継続的に確保するとともに、教育環境・学習環境の維持に努める。							
2		事業内容		小・中学校プールろ過装置修繕（南小学校分） （１）履行期間 平成30年2月13日から平成30年5月18日 （２）概要 南小学校プールろ過装置修繕一式							
3		成果		・本修繕の実施により、プールろ過装置の機能回復を図ることができた。							

(単位：円)

教育総務課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	124～125
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校トイレ改修事業（工事）（繰越明許費分）			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
138,702,000		129,211,740	0		9,490,260		93.2 %	—
1 事業目的		小学校トイレの快適性を確保するために、経年による老朽化したトイレの改修やトイレの乾式化、大便器の洋式化を図り、教育環境を良好な状態に維持する。						
2 事業内容		小学校トイレ改修工事設計書単価入替業務 （１）履行期間 平成３０年４月２日から平成３０年４月９日 （２）委託概要 小学校トイレ改修工事設計書単価入替業務一式 小学校トイレ改修工事監理業務 （１）履行期間 平成３０年５月２５日から平成３０年１０月３１日 （２）委託概要 小学校トイレ改修工事監理業務一式 小学校トイレ改修工事 （１）工事場所 ア 鶴ヶ島第二小学校 イ 新町小学校 ウ 栄小学校 エ 藤小学校 （２）履行期間 （１）のアとイ 平成３０年５月２１日から平成３０年１０月３１日 （１）のウとエ 平成３０年５月２５日から平成３０年１０月３１日 （３）工事概要 ア 天井の張り替え イ 壁の新設 ウ 床の新設（湿式から乾式への変更） エ 車いす対応便器設置 オ 小便器新設、大便器の新設（洋式化） ほか						
3 成果		・ 小学校トイレ改修工事の完了により、小学校トイレの環境が改善された。						

(単位：円)

教育総務課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	124～125			
政策	4	人を育むまち		事業名		小学校空調更新事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
5,346,000		486,000		4,860,000		0		9.1 %		100.0 %	
1 事業目的		近年の猛暑に伴う暑さ対策として空調設備を更新し、学習環境を良好に整える。									
2 事業内容		鶴ヶ島第二小学校空調設備改修工事設計業務 (1) 履行期間 平成30年5月21日から平成30年10月1日 (2) 委託概要 鶴ヶ島第二小学校空調設備改修工事の設計業務一式									
3 成果		・鶴ヶ島第二小学校北校舎の空調設備改修について、オーバーホールの設計業務が完了した。									

(単位：円)

教育総務課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	124～125	
政策 4	人を育むまち			事業名	小学校空調更新事業（繰越明許費分）				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
88,320,000		79,290,360		0		9,029,640		89.8 %	—
1 事業目的		近年の猛暑に伴う暑さ対策として空調設備を更新し、学習環境を良好に整える。							
2 事業内容		鶴ヶ島第一小学校空調設備更新設計書積算単価入替業務 （1）履行期間 平成30年4月2日から平成30年4月9日 （2）委託概要 鶴ヶ島第一小学校空調設備更新設計書積算単価入替業務一式 鶴ヶ島第一小学校空調設備更新工事監理業務 （1）履行期間 平成30年5月25日から平成30年11月30日 （2）委託概要 鶴ヶ島第一小学校空調設備更新工事監理業務一式 鶴ヶ島第一小学校空調更新工事 （1）履行期間 平成30年5月25日から平成30年11月30日 （2）工事概要 鶴ヶ島第一小学校空調更新工事一式							
3 成果		・鶴ヶ島第一小学校の空調更新工事が完了したことにより、児童の学習環境の改善が図れた。							

(単位：円)

教育総務課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	03	中学校費	02	中学校施設費	128～129			
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校施設管理事業						
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
38,916,000		30,951,391		7,377,000		587,609		79.5 %		98.1 %	
1 事業目的		中学校施設の安全性及び快適性を確保するために、学校の施設・設備の破損・故障か所を整備することで、学校運営を継続的に確保するとともに、教育環境・学習環境の維持に努める。									
2 事業内容		(1) 中学校施設管理事業 ア 浄化槽維持管理業務 イ 空調機等切替保守点検業務 ウ 受水槽、高架水槽清掃及び点検業務 エ 消防設備保守点検業務 オ プールろ過装置保守点検業務 カ 樹木剪定業務 ほか (2) 中学校施設修繕事業 ア 消防設備修繕 イ 鶴ヶ島中学校西側フェンス等修繕 ウ 体育館照明電球及び器具交換修繕 エ 西中学校小荷物専用昇降機修繕 オ 藤中学校放送設備修繕 カ 鶴ヶ島中学校プールろ過装置架台等交換修繕 ほか									
3 成果		・学校施設・設備の保守点検をすることで円滑な学校運営を確保した。また、学校施設の破損・故障を整備することで、生徒などへの受傷事故を未然に防いだ。									

(単位：円)

教育総務課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	03	中学校費	02	中学校施設費	128～129			
政策	4	人を育むまち		事業名		中学校施設管理事業（繰越明許費分）					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
23,827,000		22,331,160		0		1,495,840		93.7 %		—	
1		事業目的		中学校施設の安全性及び快適性を確保するために、学校の施設・設備の破損・故障か所を整備することで、学校運営を継続的に確保するとともに、教育環境・学習環境の維持に努める。							
2		事業内容		小・中学校プールろ過装置修繕（南中学校分） （１）履行期間 平成30年2月13日から平成30年5月18日 （２）概要 南中学校プールろ過装置修繕一式 中学校消防設備修繕 （１）履行期間 平成30年1月29日から平成30年6月29日 （２）概要 市内5中学校の消防設備修繕一式							
3		成果		・本修繕の実施により、プールろ過装置及び消防設備の機能回復を図ることができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計																						
		款		項		目		決算書頁																
		10	教育費	01	教育総務費	02	事務局費	120～121																
政策 4	人を育むまち		事業名		入学準備金貸付事業																			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率															
2, 204, 000		1, 402, 222		0		801, 778		63.6 %	—															
1 事業目的		高校等への入学予定者の保護者で、入学準備金の調達が困難な人に、無利子で入学準備金を貸付け、有為な人材の育成に資し教育の機会均等に寄与する。																						
2 事業内容		(1) 入学準備金貸付審査会 開催回数：1回 委員数：3人（教育部参事、健康福祉部長兼福祉事務所長、学校教育課長） (2) 入学準備金の貸付 平成30年度貸付者：6人（高等学校及び専修学校（高等課程）4人、大学及び専修学校（専門課程）2人） <table><tr><td>高校等</td><td>貸付者</td><td>4人</td><td>貸付額</td><td>800,000円</td></tr><tr><td>大学等</td><td>貸付者</td><td>2人</td><td>貸付額</td><td>600,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>貸付者</td><td>6人</td><td>貸付額</td><td>1,400,000円</td></tr></table>								高校等	貸付者	4人	貸付額	800,000円	大学等	貸付者	2人	貸付額	600,000円	合計	貸付者	6人	貸付額	1,400,000円
高校等	貸付者	4人	貸付額	800,000円																				
大学等	貸付者	2人	貸付額	600,000円																				
合計	貸付者	6人	貸付額	1,400,000円																				
3 成果		・入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金の貸付けを行うことで、教育の機会均等に寄与することができた。																						

(単位：円)

学校教育課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	01	教育総務費	02	事務局費	120～121			
政策 4	人を育むまち			事業名		教育系 I C T 環境推進事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
4, 000, 000		3, 990, 000		0		10, 000		99.8 %		—	
1 事業目的		新学習指導要領の趣旨を踏まえ、すべての児童生徒が情報や情報技術を適切かつ効果的に活用できるよう教育系 I C T 環境整備計画を着実に実行する。									
2 事業内容		教育用コンピュータの整備や校務の効率化に向けたシステムの導入など学習環境、校務環境の整備項目について、機器の調達を視野に入れた I C T 環境整備を検討した。									
3 成 果		・教育系 I C T 環境整備計画に基づき、新学習指導要領などを踏まえた I C T 環境整備の方向性を定めた。									

(単位：円)

学校教育課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	02	小学校費	01	小学校管理費	124～125			
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校校務情報化推進事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
7,570,000		5,604,591		0		1,965,409		74.0 %		—	
1 事業目的		教育系 I C T 環境整備計画に基づき教員 1 人 1 台の校務用パソコンを整備し、教育の情報化により学校現場のセキュリティの確保、校務の効率化を支援する。									
2 事業内容		小学校校務用パソコン整備 99 台整備									
3 成果		・教員 1 人 1 台の校務用パソコン整備により、教員の事務処理の効率化が図られ、児童の指導等に対応できる時間ができた。									

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	126～127	
政策 4	人を育むまち		事業名		児童就学支援事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
30,982,000		29,961,679		0		1,020,321		96.7 %	—
1 事業目的		市内小学校に在籍する児童の保護者に対し、経済的な負担を軽減し、必要な支援を行うことで義務教育の円滑な実施が行えるようにする。							
2 事業内容		(1) 児童就学援助 援助内容：学用品費、通学用品費、新入学準備費、校外活動費、修学旅行費、医療費、学校給食費 支給月：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費は年3回(8月、12月、3月)、新入学準備費は6月末日及び3月、4月、学校給食費は毎月、医療費は随時。 支給状況：要保護 7世帯 7人 144,834円 準要保護 371世帯 505人 28,571,387円 合 計 378世帯 512人 28,716,221円 (2) 特別支援教育児童就学奨励費 支給内容：学用品等購入費、新入学児童学用品等、校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費(以上、保護者実費の1/2)及び通学費(保護者実費) 支給月：年3回(10月、1月、3月) 支給状況：対象児童68人 支給者39人 1,049,458円 (3) 日本語未習得児童支援 児童1人に対し、1日3時間程度、概ね22日間を上限に通訳を派遣した。 通訳者派遣件数 4件							
3 成 果		・新入学準備費の入学前支給など、児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ・特別支援教育を要する児童の保護者への経済的負担を軽減することにより、就学の奨励を図ることができた。 ・通訳者を派遣したことにより、学校生活に慣れ、先生の指示や友だちとのやり取りなど、安定した学校生活につながられた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	126～127			
政策	4	人を育むまち		事業名		小学校図書館図書整備事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
7,612,000		7,605,888		0		6,112		99.9 %		—	
1 事業目的		学校図書館を充実させ、児童の言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図ることにより、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。									
2 事業内容		(1) 学校図書館の図書や資料の充実 図書及び新聞等の購入 平成30年度図書購入冊数 3,475冊 平成30年度末学校図書館充足率 72.4% (2) 学校図書館システムの保守管理 学校図書館システム 各小学校に設置 学校図書館システム機器 パソコン、サーバー、プリンター									
3 成果		・児童の本の貸出・返却手続きがスムーズになり、読書や選書の時間を確保し、本にふれあう機会が増した。 ・今年度の貸出等のデータを活用し、次年度以降の図書購入の際の参考とすることができた。									

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	126～127	
政策	4	人を育むまち		事業名		小学校学力向上推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
18,214,000		18,200,010		0		13,990		99.9 %	—
1 事業目的		個々に応じたより細かな学力向上支援体制を確保し、児童の基礎学力定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図る。							
2 事業内容		(1) 小学校学習支援員の配置 個々に応じたより細かな学習支援体制を確保し、わかる授業・伸ばす授業を実現するため、各校1名の学習支援員を配置し、基礎学力の定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図った。 学習支援員 各小学校1名配置 (計8名) (2) 小学校算数学力向上支援員の配置 学習のつまづきを早期に解消するために、掛け算九九や四則計算をはじめとした基礎学力の定着を目的として、小学校に算数学力向上支援員を配置し、放課後のびのび算数教室の指導の充実を図った。 算数学力向上支援員 各小学校3～4名配置 (計25名) (3) 土曜学習指導員等の配置 平成29年度から中央図書館等で土曜学習会を開催し、参加児童の学力に応じて国語・算数に関する基礎的な知識・技術の確実な定着と活用力や応用力の向上を目的として、土曜学習指導員等を配置し、土曜学習会の指導の充実を図った。 土曜学習指導員、土曜学習指導補助員 各2名配置 (計4名) (4) 学習支援ソフト及びタブレットPCのリース(土曜学習会用) 学習支援ソフト等を活用し、参加児童の学力に応じて国語・算数に関する基礎的な知識・技術の確実な定着と活用力や応用力の向上を図った。 学習支援ソフト及びタブレットPC (42台リース)							
3 成果		・学習支援員や算数学力向上支援員により、個々に応じたきめ細やかな指導を受け基礎学力を伸ばすことができた。 ・土曜学習会では、個々に応じた学習支援を行うことで苦手分野の克服や得意教科をさらに伸ばす機会となった。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	126～127	
政策	4	人を育むまち		事業名		小学校国際性を育む教育推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4,903,000		4,581,484		0		321,516		93.4 %	—
1		事業目的							
		外国語指導助手を配置し、小学校の担任の支援や小学校外国語活動の充実とともに国際理解教育の推進を図る。また、子どもたちの異文化への理解や異文化コミュニケーション能力を高める。							
2		事業内容							
		(1) 外国語指導助手（ALT）の配置 英語の標準的な発音に慣れたり、外国の生活について興味関心を高めながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、外国語指導助手（ALT）を小学校に派遣した。また、外国語指導助手（ALT）を講師とし、小学生を対象に親子英会話教室を開催した。 ア 市内小学校ALT 2名で対応（南小学校は、南中学校のALTが兼務） （栄小学校は、富士見中学校のALTが兼務） イ 親子英会話講座 開催期間 平成30年7月30日から平成30年8月1日 対象者 小学生 参加人数 小学生34人 その他、保護者も参加 (2) 平成30年度 小学校英語教育に係る指導力向上研修会 「鶴ヶ島市地域教材を活用した授業提案」と「これからの小学校英語教育について」の研修を行い、英語・外国語活動の指導力の向上を図った。 開催日 平成30年 7月30日、31日、8月1日 参加人数 約100人							
3		成果							
		・外国語指導助手を配置し、小学校での外国語活動の時間にネイティブな英語を定期的に体感させることで、児童の英語に対する興味関心を高めるとともに、基本的な英会話を習得させることができた。外国語を楽しんで学習することで積極的に自らコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努めた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	126～127	
政策 4	人を育むまち			事業名	小学校教育支援体制整備事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
1, 850, 000		1, 849, 820		0		180		100.0 %	—
1 事業目的		教員の業務支援を図り、教員が児童への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、いじめ不登校の解消、教員の負担軽減を図る。							
2 事業内容		スクール・サポート・スタッフの配置 教員の超過勤務時間の削減及びいじめ、不登校の解消を図るため、教員が一層児童への指導に注力等できる体制を試行的に整備した。 スクール・サポート・スタッフ 2校の小学校に1名ずつ配置							
3 成果		・配置校の校長へのヒアリングでは、「教師の印刷や配布物の仕分け等の事務仕事の一部をスクール・サポート・スタッフに移行させることにより、その分の時間を児童への指導や授業計画等の時間にすることができた。」との報告があった。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	03	中学校費	01	中学校管理費	128～129			
政策 4	人を育むまち			事業名		中学校校務情報化推進事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
5, 150, 000		3, 943, 461		0		1, 206, 539		76. 6 %		—	
1 事業目的		教育系 I C T 環境整備計画に基づき教員 1 人 1 台の校務用パソコンを整備し、教育の情報化により学校現場のセキュリティの確保、校務の効率化を支援する。									
2 事業内容		中学校校務用パソコン整備 7 4 台整備									
3 成 果		・教員 1 人 1 台の校務用パソコン整備により、教員の事務処理の効率化が図られ、生徒指導等に対応できる時間ができた。									

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	128～129
政策 4	人を育むまち		事業名		生徒就学支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率		繰越除く執行率
34,919,000		32,905,846	0		2,013,154	94.2 %		—
1 事業目的		市内中学校に在籍する生徒の保護者に対し、経済的な負担を軽減し、必要な支援を行うことで義務教育の円滑な実施が行えるようにする。						
2 事業内容		(1) 生徒就学援助 援助内容：学用品費、通学用品費、新入学準備費、校外活動費、修学旅行費、医療費、学校給食費 支給月：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費は年3回(8月、12月、3月)、新入学準備費は6月末日及び3月、4月、学校給食費は毎月、医療費は随時。 支給状況：要保護 4世帯 4人 199,389円 準要保護 278世帯 414人 31,908,786円 合 計 282世帯 418人 32,108,175円 (2) 特別支援教育生徒就学奨励費 支給内容：学用品等購入費、新入学生徒学用品等、校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費(以上、保護者実費の1/2)及び通学費(保護者実費) 支給月：年3回(10月、1月、3月) 支給状況：対象生徒17人 支給者17人 744,171円 (3) 日本語習得生徒支援 生徒1人に対し、1日3時間程度、概ね22日間を上限に通訳を派遣した。 通訳者派遣件数 1件						
3 成 果		・新入学準備費の入学前支給など、生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ・特別支援教育を要する生徒の保護者への経済的負担を軽減することにより、就学の奨励を図ることができた。 ・通訳者を派遣したことにより、学校生活に慣れ、先生の指示や友達とのやり取りなど、安定した学校生活につながられた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	130～131			
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校図書館図書整備事業						
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
8,332,000		8,329,297		0		2,703		100.0 %		—	
1 事業目的		学校図書館を充実させ、児童の言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図ることにより、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。									
2 事業内容		(1) 学校図書館の図書や資料の充実 図書及び新聞等の購入 平成30年度図書購入数 3,971冊 平成30年度末学校図書館充足率 64.6% (2) 学校図書館システムの保守管理 学校図書館システム 各中学校に設置 学校図書館システム機器 パソコン、サーバー、プリンター									
3 成果		・生徒の本の貸出・返却手続きがスムーズになり、読書や選書の時間を確保することができた。 ・今年度の貸出等のデータを活用し、次年度以降の図書購入の際の参考資料とすることができた。									

(単位：円)

学校教育課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	130～131			
政策 4	人を育むまち			事業名		中学校学力向上推進事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
6,741,000		6,666,100		0		74,900		98.9 %		—	
1 事業目的		個々に応じた細かな学力支援体制を確保し、生徒の基礎学力定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図る。									
2 事業内容		中学校学習支援員の配置 個に応じたより細かな学習支援体制を確保し、わかる授業・伸ばす授業を実現するため、各校1名の学習支援員を配置し、基礎学力の定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図った。 学習支援員 各校1名配置 (計5名)									
3 成果		・一斉指導では理解に時間のかかる生徒に対しても、個に応じた細かな学習支援を行うことができた。基礎学力の定着につながり学習意欲の向上が図られた。									

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	130～131	
政策	4	人を育むまち		事業名		中学校国際性を育む教育推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
25,600,000		23,017,963		0		2,582,037		89.9 %	—
1 事業目的		外国語指導助手（派遣）を配置し、中学校外国語の充実とともに国際理解教育の推進を図る。また、子どもたちの異文化への理解や異文化コミュニケーション能力を高める。							
2 事業内容		（１）外国語指導助手（ＡＬＴ）の配置 英語の標準的な発音に慣れたり、外国の生活について興味関心を高めながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、外国語指導助手（ＡＬＴ）を中学校に派遣した。 各中学校へＡＬＴ１名配置（南中学校のＡＬＴは、南小学校兼務） （富士見中学校のＡＬＴは、栄小学校兼務） （２）市費英語教員の配置 中学校英語教員の支援によって小学校外国語活動の充実を図り、小中一貫した外国語教育を進めるため、市費英語教員を中学校に配置した。 各中学校へ市費英語教員を１名配置							
3 成果		・外国語指導助手を配置し、英語の授業では、ネイティブな英語を生徒に体感させることによって、正しい発音を身につける一助とすることができた。また研修会等を通して英語教育に対しての理解を深め、教科指導力の向上に努めた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	130～131			
政策	4	人を育むまち		事業名		がんばる部活動応援事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
6,545,000		6,307,443		0		237,557		96.4 %		—	
1		事業目的		中学校部活動の一層の環境整備を通じて、未来を担う人材である中学生の心身の成長を応援することを目的とする。							
2		事業内容		(1) 備品購入 各中学校部活動で不足している備品の購入を行った。 主な購入品 楽器 ホルン、チューバ、クラリネット、トランペット他 体育用品 卓球台、スターティングブロック、バレーボール審判台他 (2) 中学校生徒各種校外活動参加補助金 補助金申請件数 9件 (関東大会 6件 全国大会 3件) 内訳 陸上 6件 水泳 1件 吹奏楽 2件							
3		成果		・部活動の不足している備品を購入し、練習の効率化や充実につなげられた。 ・大会参加補助金を支給することで、市の代表として誇りを持ち大会に臨む生徒の育成につなげることができた。 ・保護者の負担軽減につなげることができ、直接的・間接的に生徒を支えることができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	132～133	
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校教育支援体制整備事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
1, 850, 000		1, 849, 820		0		180		100.0 %	—
1 事業目的		教員の業務支援を図り、教員が生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、いじめ不登校の解消、教員の負担軽減を図る。							
2 事業内容		スクール・サポート・スタッフの配置 教員の超過勤務時間の削減及びいじめ、不登校の解消を図るため、教員が一層生徒への指導に注力等できる体制を試行的に整備した。 スクール・サポート・スタッフ 3校の中学校に1名ずつ配置							
3 成果		・配置校の校長へのヒアリングでは、「教師の印刷や配布物の仕分け等の事務仕事の一部をスクール・サポート・スタッフに移行させることにより、その分の時間を生徒への指導や授業計画等の時間にすることができた。」との報告があった。							

(単位：円)

教育センター		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	01	教育総務費	03	教育センター費	122～123			
政策	4	人を育むまち		事業名		教育相談・いじめ防止対策事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
17,853,000		15,790,001		0		2,062,999		88.4 %		—	
1 事業目的		児童生徒・保護者が相談しやすい環境整備としての人的配慮、「いじめ防止」のための教職員研修、地域への啓発・協力を図る。									
2 事業内容		(1) いじめ防止等に関する研修会 管理職、教職員を対象とした研修会を開催した。 ア 「精神不調と自殺のリスクを知り対処するために」 (8月23日) イ 「いじめ対策プログラムによる授業提案について」 (11月22日) (2) 相談窓口カードを小学校2年生以上の全児童生徒に再配布 (3) 「SNS利用のルールづくり」の授業実践 実践提案授業研究会を杉下小学校で開催した。(10月23日) (4) いじめ等防止のための学校づくり視察研修会 管理職、生徒指導主任等を対象とした研修会を実施した。 ア 本庄市立児玉中学校 (10月30日) イ 越谷市立越ヶ谷小学校 (11月29日) ウ 管理職対象研修「危機管理研修会」 (2月7日) (5) いじめ等対応支援員・スクールカウンセラー・臨床心理士の配置 ア いじめ等対応支援員 1名配置 イ スクールカウンセラー 全校配置 ウ 臨床心理士 週2日に拡充 (6) 児童生徒理解のために、学級満足度調査 (ハイパーQ Uテスト) を実施した。 (小学校3年生～中学校3年生・2回) (7) いじめ防止啓発のためのポスターを作成、掲示した。									
3 成果		・教員を対象とした「いじめ防止等に関する研修会」を実施し、子どもの不調から「いじめ」を見逃さない学校の体制づくりについて教員の理解が図れた。 ・学校がいじめ等対応支援員と情報共有を定期的に行うことで、いじめの早期発見と対応のための支援体制を構築することができた。 ・ハイパーQ Uテストの活用により、いじめの早期発見・早期対応が図れた。									

(単位：円)

教育センター		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	01	教育総務費	03	教育センター費	122～123	
政策	4	人を育むまち		事業名		特別支援教育推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
50,655,000		50,369,458		0		285,542		99.4 %	—
1 事業目的		個に応じた教育を推進するために、未就学児への適切な就学支援を行うとともに、小中学校の通常学級及び特別支援学級の運営を円滑にする。 個別指導・援助を必要とする児童生徒に対して、適切な教育形態及び学習形態を助言するため、年間5回の就学支援委員会を実施する。また、人的支援を行うことで、小中学校の通常学級及び特別支援学級の運営を円滑にする。							
2 事業内容		(1) 学級運営補助員、看護師、介助員の配置 個別指導・援助を必要とする児童生徒及び学級への支援を行うために、学級運営補助員等を派遣し、通常学級や特別支援学級の運営の充実を図った。 (2) 就学支援委員会の開催 発達障害を含めた、障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、本人及び保護者の立場に立ち、専門的な見地から適切な教育や指導をとおして必要な支援を行うため、鶴ヶ島市就学支援委員会を設置し、就学支援委員会会議を開催した。							
3 成果		・学級運営補助員34名、看護師2名、介助員1名を派遣することができ、通常学級や特別支援学級の学級運営の充実が図れた。 ・就学支援委員会の判断を参考に就学先を決定、教育形態の変更ができた。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	05	社会教育費	02	図書館費	134～135			
政策 4	人を育むまち			事業名		図書館運営事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
181,621,000		181,582,922		0		38,078		100.0 %		—	
1 事業目的		市民の多種多様な学習要求や課題解決に応える「知の情報拠点」として市民の学びを支援できるよう、資料の収集・整理や情報発信に努めるとともに、子どもたちが読書に親しむ機会の充実を図る。									
2 事業内容		(1) 図書館協議会運営経費 市民の参画と協働による図書館運営を進めるため、図書館協議会を開催した。 ア 第1回 平成30年10月17日 イ 第2回 平成31年2月19日 (2) 図書館維持管理経費 図書館（中央図書館及び6分室）の管理運営を指定管理者に委託し、効率的な管理運営及び市民サービスの向上を図った。 (指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日) また、設備の修繕を行い、中央図書館の適切な維持管理に努めた。									
3 成果		・図書館協議会を2回開催し、市民を支え、活力あるまちづくりに寄与する図書館のあり方及び指定管理者による図書館運営について審議を行った。 ・指定管理者による管理運営により、開館日数の増及び開館時間の延長とともに、若葉駅前カウンターに常駐スタッフが配置され、市民サービスの向上が図られた。									

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	05	社会教育費	03	文化財保護費	134～135			
政策	4	人を育むまち		事業名		(仮称) 龍蛇工房整備事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
25,118,000		23,760,000		0		1,358,000		94.6 %		—	
1 事業目的		脚折雨乞で使われるミニ龍蛇等の展示や龍蛇製作技術継承の拠点、並びに資機材の保管機能を備えた施設として（仮称）龍蛇工房を整備し、行事開催のない年にも脚折雨乞の持つ魅力に触れ、伝統行事の継承を支援する。									
2 事業内容		建築場所 下向児童公園内 木造平屋建 鋼板葺き 床面積76.18㎡  龍蛇ふる里会館を会場とした技術伝承講習会									
3 成果		・愛称を「龍蛇ふる里会館」と決定し、平成31年3月30日に落成式を開催した。									

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費	136～137			
政策	4	人を育むまち		事業名		市民スポーツ行事開催事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
2, 650, 000		2, 650, 000		0		0		100.0 %		—	
1 事業目的		市民がスポーツやレクリエーションイベント等を通して、健康で明るく暮らせるまちづくりを目指す。									
2 事業内容		(1) 市民体育祭開催事業補助金 2, 000, 000円 地域コミュニティの活性化と生涯スポーツの振興を図るため、NPO法人鶴ヶ島市体育協会が主催する「市民体育祭」及び「陸上競技記録会」の開催を支援した。 ア 市民体育祭 1, 800, 000円 開催日 平成30年10月7日 会 場 市内3会場（鶴ヶ島第一小学校、藤小学校、西中学校） イ 陸上競技記録会 200, 000円 開催日 平成30年6月24日 会 場 川越運動公園陸上競技場 (2) スポーツフェスティバル開催事業補助金 500, 000円 市民の健康増進と体力の向上を図ることを目的に、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる総合的なスポーツイベントとして「つるがしま元気スポーツフェスティバル」の開催を支援した。 開催日 平成30年11月4日 会 場 運動公園 (3) 市民綱引き大会開催事業補助金 150, 000円 市民のスポーツへの関心を高めるとともに、世代を越えた相互のコミュニケーションづくりと体力づくりを推進するため、NPO法人鶴ヶ島市体育協会が主催する「市民綱引き大会」の開催を支援した。 開催日 平成31年1月20日 会 場 藤中学校 対 象 小学生・中学生・一般									
3 成 果		・市民体育祭は、鶴ヶ島第一小学校3, 452人、藤中学校3, 409人、西中学校4, 227人で、合計11, 088人の参加があった。また、陸上競技記録会は、159人（延べ278人）の参加があった。 ・スポーツフェスティバルは、健康マラソン、ステージコーナー、体験コーナーなど1, 257人の参加があった。 ・市民綱引き大会は、24チーム250人の参加があった。									

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	06	保健体育費	03	体育施設費	138～139			
政策	4	人を育むまち		事業名		新体育館整備構想調査事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
9,000,000		8,856,000		0		144,000		98.4 %		—	
1		事業目的		海洋センターの老朽化や屋内スポーツ施設に対する市民ニーズ等を踏まえ、今後の様々な状況に適切に対応するため、新たな体育館を建設する場合の適正な施設規模や必要な機能などを整理する。							
2		事業内容		新体育館整備構想調査業務 今後のスポーツ施設の整備を総合的に検討するにあたり、新たな体育館を構想する場合の適正な規模や必要な機能などを、多角的な視点から調査・整理をしておく必要があるため、調査を行った。 (1) 業者選定方法 新体育館整備構想調査業務コンサルタント選定委員会を設置し、プロポーザル方式により委託業者を決定 委託業者：パンフィックコンサルタンツ株式会社埼玉事業所 (2) 業務委託内容 ア 新体育館整備構想調査報告書及び新体育館整備構想の作成 イ 報告書作成に必要な各種調査・分析業務 ウ 関係機関との協議調整等に必要な資料の作成 エ その他、関係機関等との協議調整に必要な支援業務 (3) 新体育館整備構想概要 ア 本市のスポーツに関する現状と問題点 イ スポーツ施設に対する市民ニーズ ウ 課題と整備方針 エ 新体育館のコンセプト オ 整備テーマと導入施設 カ 施設規模の想定 キ 整備候補地 ク 整備及び維持管理運営手法 ケ 整備スケジュール コ 埼玉県による農業大学校跡地活用等推進事業を踏まえた対応							
3		成果		・市民ニーズや本市の今後の展望を踏まえ、必要な機能や施設規模、整備手法など、多角的に調査・検討し、新体育館の整備を具現化するための資料となる新体育館整備構想を策定した。							

(単位：円)

学校給食センター		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	06	保健体育費	02	学校給食費	138～139	
政策 4	人を育むまち		事業名		学校給食運営事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
531,582,000		528,243,227		0		3,338,773		99.4 %	—
1 事業目的		安全安心で栄養バランスの取れた給食を児童生徒に提供するとともに、「食」に関する指導を行い、望ましい食習慣の習得と健康づくりにつながるよう、食育を推進する。							
2 事業内容		(1) 学校給食センター稼働日数 199日 (2) 学校給食提供数 1,089,403食 (3) 鶴ヶ島産農産物の活用状況 11,876.9kg ※農産物の全体使用量 117,020.2kgの10.1%							
3 成果		・成長期にある児童生徒に、地元産の農産物を使った、栄養バランスの取れた安全安心な学校給食を、概ね予定どおり提供することができた。							

教育部

(単位：円)

教育総務課		一般会計									
		款		項		目		決算書頁			
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	124～125			
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校施設管理事業					
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率		繰越除く執行率	
93,749,000		85,177,437		6,718,000		1,853,563		90.9 %		97.9 %	
1 事業目的		小学校施設の安全性及び快適性を確保するために、学校の施設・設備の破損・故障か所を整備することで、学校運営を継続的に確保するとともに、教育環境・学習環境の維持に努める。									
2 事業内容		(1) 小学校施設管理事業 ア 浄化槽維持管理業務 イ 自家用電気工作物保安業務 ウ 空調機等切替保守点検業務 エ 消防設備保守点検業務 オ 受水槽、高架水槽清掃及び点検業務 カ 樹木剪定業務 ほか (2) 小学校施設修繕事業 ア 消防設備修繕 イ 新町小学校冷却水ポンプ修繕 ウ 藤小学校浄化槽調整槽ブロワー交換修繕 エ 杉下小学校中庭広場修繕 オ 屋外遊具及び体育器具修繕 カ 体育館照明電球及び器具交換修繕 ほか									
3 成果		・学校施設・設備の保守点検をすることで円滑な学校運営を確保した。また、学校施設の破損・故障を整備することで、児童などへの受傷事故を未然に防いだ。									